

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

施設名	高松国分寺ホール		
指定管理者	日本管財・JTBコミュニケーションデザイン共同事業体	施設所管課等	文化芸術振興課
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日(5年間)	公募・非公募の別	公募
所在地	高松市国分寺町新名430番地	業務の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ホールの使用許可及びその変更の許可、使用許可の取消し並びに使用の停止に関する業務 ・入館の拒否及び退館の命令に関する業務 ・ホール及び設備の維持管理に関する業務 ・ホール利用の促進に関する業務 ・ホールを利用した文化芸術の振興に関する業務 ・その他ホールの設置目的を達成するための事業実施に関する業務
施設の概要	【施設】 鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄筋コンクリート造、鉄骨造) 地上2階建 【使用時間】 9～22時 休館日：月曜日、年末年始		

	項目名	令和5年度	令和4年度	項目名	令和5年度	令和4年度
利用状況等	利用者数	40,101 人	30,724 人	ホール稼働率(日別)	88.0 %	85.1 %
	自主事業開催数	28 回	32 回			
	自主事業参加者数	7,978 人	7,833 人			
収支状況等	収入総額	53,261 千円	50,582 千円	支出総額	52,107 千円	50,445 千円
	指定管理料収入	42,936 千円	40,897 千円	精算額(市へ戻入分)	1,710 千円	255 千円
	施設利用料収入	10,325 千円	9,685 千円			

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性 ②平等な利用の確保	事業計画及び運営マニュアルに基づき、利用者の公平性、平等性確保に重点を置いた運営を実施した。またアンケート結果より「施設の使いやすさ」「清掃」「スタッフ対応」に関して、回答者ほぼ全員が「良い/やや良い」を回答。理由として「施設の清潔さ」「スタッフの丁寧な対応」が挙げられており、市民の平等な利用の確保に向けた取り組みを行った。	S
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策 ②広報・PR対策 ③企画事業・自主事業 ④市・関係団体・地域等との連携 ⑤サービス向上の取組 ⑥相談・苦情への対応	昨年度から実施のYouTubeに加え、Instagram、X(旧:Twitter)、Facebook等で積極的にPRを行うことで、フォロワー数を伸ばしていった。また、今年度も約30の企画・自主事業を実施し、特に国分寺ホール10周年を記念した大規模なイベントや、うるう日の宴等、23年度を彩るイベントを開催した。その他、地域の恒例イベントである「音の祭り」や「国分寺町文化祭」などの協力、サポートも積極的に行った。これらの事業に対してアンケートを実施したところ、各公演の満足度は90%以上と高評価を得ることができ、リピーターに加え、新規顧客の獲得に大きく繋がった。秋ごろには移動観覧席の故障により平土間利用が出来なくなる事例が発生したが、既存予約者および今後のお客様に対して早急な広報と丁寧な対応を行うことで、利用者に対する信頼も獲得できた。	S
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等 ②教育・研修 ③就業規則等の遵守 ④施設運営の健全性の確保(経営状況の確認を含む) ⑤損害保険等 ⑥収支計画と執行管理	施設貸館・総務経理・文化事業および舞台サポートと、各部門に社員スタッフを配置し、市内の在住者、地元の雇用を最大限に優先させた。研修に関しては、「地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会」や「公文協施設視察研修」に参加する等、個々人の業務スキル向上にも取り組んだ。新型コロナウイルスの5類移行によって、ホール利用率の回復に伴い、従業員スタッフの労働時間も増加したが、マルチタスクで各自協力しながら業務を遂行した。物価高騰や光熱費の上昇の影響は受けたものの、指定管理料内で適切な管理を行った。移動観覧席故障時には保険が適用されるか等を積極的に確認した。概ね、年度初めに設定した収支計画に基づき運営業務を遂行したが、一部収支計画通りに遂行できていない部分があった。	S
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費 ②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点 ③経営の効率化 ④合理的な会計制度	利用者の視点に立った設備利用料金や入場料を設定し、広報・PR等を通じて収入確保に向けた取組を実施した。また10周年の特別体験事業を実施し、初めての方や少人数での利用促進を図った。移動観覧席が故障した際は、施設長と本社エリアプロデューサー間で速やかに情報を共有し、今後の対策(主にお客様対応)に向け協議し、適切な対応を行った。会計部分については、毎日必ず複数で検金を行い、現金現在高調書を作成。責任者は、現金現在高調書と現金出納帳とを照合し、一致を確認している。また本社のエリアプロデューサーも施設訪問時に確認を行うことも徹底した。	A

総合評価コメント	総合評価
高松国分寺ホール指定管理者として、施設の維持管理・運営業務については、運営マニュアルに基づき、適切に実施できている。また、個人情報保護、コンプライアンス、環境配慮に関する試験を行うほか、「サステナブル」に関する研修・教育を実施するなど、時代に沿った教育も積極的に取り入れ、職員への周知徹底のための工夫がなされている。 ホールのPRに関しては、YouTubeやInstagramなど、時代に沿ったSNSを活用した情報提供に努めるとともに、引き続きインターネットを活用しない層を念頭に置いたチラシ配布等、幅広い世代に向けた利用促進対策が行われており評価できる。また、館内に、県内の他の文化施設のチラシ・ポスターを集めてPRするコーナーを設けており、来館を契機として、様々な文化事業に興味を持ってもらうための工夫がなされている。 移動観覧席故障に伴い、平土間利用が制限される中においても、予約者に対する迅速・丁寧な対応を行った結果、前年を上回る利用料金収入が得られている。また、自主事業では、参加者の増加に繋がる工夫をしながら、個人や文化団体の活動に寄り添った小規模な事業を含め多様な事業展開を行うなど、利用者の満足度は高い。地域との連携については、開館当初より地元の文化団体、コミュニティ協議会等と協力した事業展開のほか、自主事業においては地元大学との連携を行っている。 これまで同様、地域と密接に連携するとともに、本市西部地域における市民の文化活動の創造・発表、交流の拠点として、ホールのさらなる価値の向上に努めてもらいたい。	S